第９回　特別支援教育セミナー　ALL小嶋悠紀講座　　まとめ

平成２６年２月９日（日）　豊橋市民センター・カリオンビル

〇太っていない子どもで、急に給食をたくさん食べるようになったら、愛着形成が満たされていない可能性あり。

　オキシトシンが不足している。

〇自閉症の子どもの鼻からオキシトシンを入れる→対人関係が良くなった。

　オキシトシンは人間関係に大事な役目

　※このことに関しては、次のサイトが参考になる→http://www.jst.go.jp/pr/announce/20131219/

　引用：東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野　准教授　山末 英典は、同研究科 統合生理学分野　特任助教（当時） 渡部 喬光らと共同で、ホルモンの１種である[オキシトシン](http://www.jst.go.jp/pr/announce/20131219/%22%20%5Cl%20%22YOUGO2)注２）をスプレーによって鼻から吸入することで、自閉症スペクトラム障害において元来低下していた内側前頭前野注３）と呼ばれる脳の部位の活動が活性化され、それと共に対人コミュニケーションの障害が改善されることを世界で初めて示しました。

今後はこの研究成果をもとに、オキシトシンの点鼻スプレー製剤を活用して、未確立だった自閉症スペクトラム障害における対人コミュニケーションの障害の治療法開発に取り組んでいきます。

〇愛着形成が不足している子ども　手を挙げて指してもらいたい気持ちが高い

　・最初に当てる子ども・・・早く満足させたい子　途中でまた言いたいと言ってきたらちゃんと言語で制止する。

　・後で当てる子ども・・・ソーシャルスキルを学ばせたい子　例示を見てから動ける子

〇音読は感情ぬきで平坦にやるべき　障害のある子にはその方が有効

〇「だよね」の発想で接する

　飛行機を授業中に飛ばしちゃったのを見たら、「飛行機を飛ばしちゃったくなったんだよね」

　「また飛ばしたなあ！」という「また～」の気持ちでは強い刺激で注意をしてしまう。

　障害児には良くない。

　「だよね」の発想で低い刺激で元に戻すのがいい。

〇教師はさっそうと動く　平山Drの言葉　そして毅然と動けるのがいい。

CDを作ったので何回も聴いて欲しいとのこと。　※さっそく購入。聴くぞう！

〇「読解スキル」のような教材は、正しいユースウェアを知るのが大事。

〇WISCが読めるようにならなくてはならない。そのためのシートを作った。メールで流したい。

　※欲しいなあ～。

〇教師は期間巡視で教室内を動く。でも特別支援学級ではいつも見ていられる場所がいい。

　教師は死角をつくらず。教師はあまりちょこまか動かずに毅然と。

教師が見ていないと思うと、ノルアドレナリンの分泌が減って、ゆるむ。

〇「ドラえもん」のび太がドラえもんにねだった数、アイテムを貸してくれた数　どれくらいか？

　　貸してくれた回数７１７÷ねだった数７２１＝９９、４％

　この話が導入で「統計」の授業が始まった。

〇イスラム教の授業　世界のムスリム（イスラム教を信じる人）は世界の人口の２３％

　「ハラール」について知る　　参考<http://www.jhalal.com/halal>（日本ハラール協会）

　引用：**イスラム法において合法なものの事をハラールといい、非合法なもののことをハラームといいます。**

**そして、最近ではそれ以外のハラールでない物の事を非ハラール（non halal)と称する事もあります。**

〇「ハラールマーク」「ハラルマーク」　ムスリムの人たちが食べられる店・食品を示すマーク。



http://malaysiaum.seesaa.net/article/133041102.html

〇関西国際空港　ムスリムフレンドリー空港をめざしている。東京オリンピックのため。

〇指しゃぶり　自分で自分を癒している　自己グルーミング

　　大人がその子を癒していないというサイン　満足していない

〇愛着形成が出来ているかどうか判断することができるのは８ヶ月　人見知りするかしないか

　３～４ヶ月で目が定まり、動くものを追いかけ始める

　あやしてくれる人がわかる　そうじゃない人もわかる

この人は愛着形成対象者じゃないと「人見知り」をする。

〇愛着形成が完了　６歳ころ　母子分離　抱いてあげようとして「やめてよう」と言ったら完了

〇世界三大穀物　米　小麦　とうもろこし

〇昔の小麦は背が高い　ターキーレッド　背が高い　取れる量が少ない　病気に強い

　　　　　　　　　背が低い品種もあった　　フルツ　背が低い　取れる量が多い　病気に弱い

　　ターキーレッドとフルツを交配させて「農林十号」ができる　　稲塚権次郎による

　　世界に広がる　偉大な仕事だった

〇小島式不適応・問題行動ABC分析シート　※DVDを買ったので参考にしたい。

 シートA 向上　維持　低下の三択があるのが特徴　維持でセーフ。

　　シートB　「よかった行動」の原因要素と結果を求めているのが特徴

　「原因要素」をしっかり書けるようにする。

　子どもに言語化させる。「すっきりした！」他

　言語化できるようになったら、内言語に落としていこう。

※内言語の発想も小嶋先生の講座で印象に残ったこと。今回でまた再認識。

「よかった行動」にも原因がある。

教師のアセスメントができていないことから、子どもの問題行動が起こることもある。

「原因要素に対する日常的にできる配慮と支援」　この項目が書けないのは、頭が指導脳になっている証拠。

〇「特別支援教育は予防」「特別支援教育は科学（サイエンス）

〇就学児健康診断　発達相談アンケート　質問項目

　「人見知りは遅い方でしたか。それとも早い方でしたか。（一般的に人見知りが始まるのは８ヶ月頃と言われています。）」

　「お母さん（お父さん）への甘えが徐々に減ってきていると感じますか。」

　愛着形成、母子分離を判断する材料

〇予告承認で枠作り　今からどうするか２択とかにして決めさせる。

〇学級経営　脳の成長を待ってあげよう。　これも大事な考え方。

〇発達障害児にとって、現状維持も成長。

※「アタマげんきどこどこ」のことをレポートに書いてきた人あり。

　ワーキングメモリを鍛える絵本！早速注文。

少し減速気味だったワーキングメモリの実践が再開するきかっけを、やっぱり小嶋先生の講座からいただく。